

## 六期目に 挑戦

新年のトップを切って闘われる大阪府茨木市議選(十九日告示、二十六日投票、定数三十六)に、現職で新社会党府本部書記長の山下けいさん(44歳)が六



大阪・茨木市議

山下けいさん 44歳

期目に挑戦する。

山下さんはこの四年間唯一人、定例議会で毎回発言を続けてきた。議会は行政

のチェック機関であり、議員の仕事は何よりも議会質問であるとの信念からだ。

その一つが情報公開。これまで山下さんは情報公開条例を作らせ、自らも

百回を超える資料請求を行って、不便すぎる」となってきた。行政の理不尽な非公開決定には、審査会

への異議申し立てだけではなく、行政処分を取り消しを求めて裁判に訴え、全面公開や部分公開を勝ち取っ

ておらず、不便すぎる」という山下さんからの指摘によって市が改善したもの。またガイドヘルパーの派遣時間や北部丘陵開発への反対など市民運動を議会で取り

上げ前進させてきた。今回の選挙は山下さんが

議会議問を基本にしながら

さらには、朝鮮人を強制連

トーは「選挙は楽しく。集

まれば人が集まり、人が

集まれば、選挙も元気が出るとの経験則から。事務所は市中心部、スーパージヤスコのすぐ近く。買い物

# 議会と市民結び数々の実績

## 選挙は日常の延長で

てきた。

昨年暮れの十二月議会で建設中の新庁舎一階に行政資料を置く情報コーナーの設置と職員配置が決まった。これは「情報公開の継続をする行政資料室が三階にあり、職員も配置され

がすぐ福祉サービスを受けられるように、居住年数による制限も撤廃した。震災対策でも活断層の位置を入れたハンドブックの作成、学校の空き教室の備蓄倉庫への転換、社会的弱者優先を実現させた。

仲間を増やそうと擁立に動いた予定候補を含め、十名を超す新人が立候補予定。従来よりも厳しい情勢だが、楽しく元気いっばいに乗り切ろうと、老・壮・青年を合わせている。

山下けい事務所のもつ

「選挙は日常の延長で、やりたいと、本人は選挙期間中も百三十部、週刊新社会」の市役所配布を行なう。

# 地域から広げる